

潤いの森 12月



ゴンズイ

ミツバウツギ科

実鑑賞期：10～12月

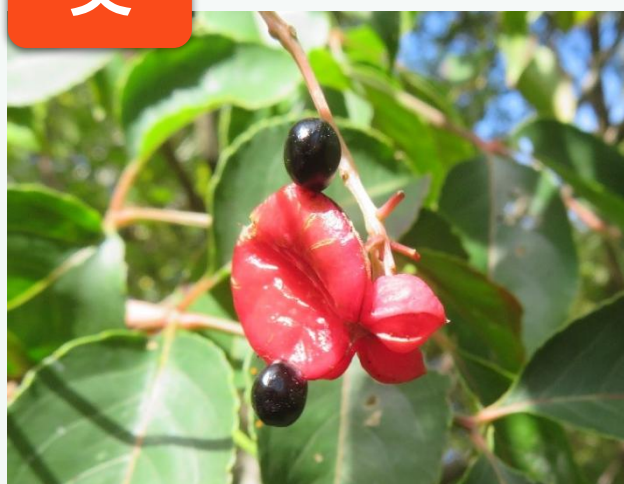
ゴンズイの花は地味ですが、秋になると赤い果皮と黒い種子のコントラストが非常に美しく、観賞価値が高いため庭木や公園樹に使われています。そのようなことから、花言葉は「一芸に秀でる」と付けられています。

魚のゴンズイとは特に関係はなく、魚は毒をもっていて食べられず、樹木は枝が柔らかく薪の焚き付け程度にしか使う事ができず、どちらも「役に立たない」という意味で名前がつけられた説があります。

花



実



センリョウ

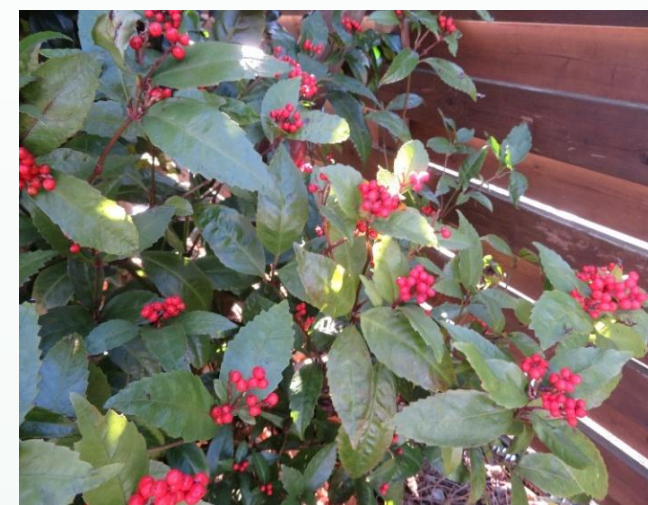
センリョウ科

実鑑賞期：12-3月

センリョウ（千両）は、日本の冬を彩る代表的な縁起植物です。正月飾りや寄せ植えに使われます。野鳥のエサにもなり、潤いの森では、彼方此方から芽を出しています。

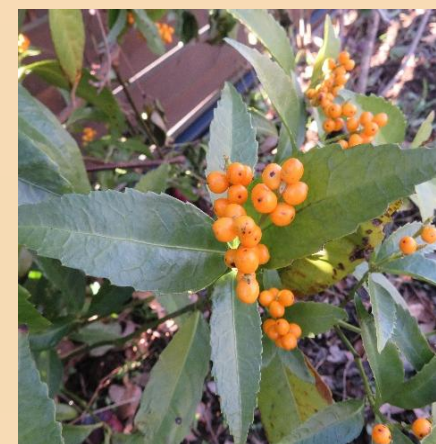


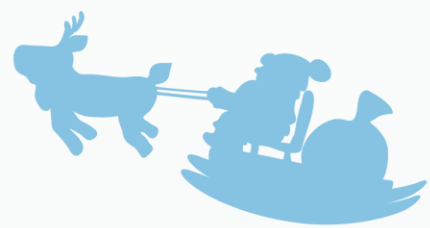
花



黄色いセンリョウ

黄色い実のセンリョウは、キミノセンリョウと呼ばれる品種で、赤い実のセンリョウの突然変異種だそうです。





ウマオイ

キリギリス科
観察時期：8-11月



11月も終わりでしたが、ウマオイがベンチにいました。ウマオイは夜行性の強い肉食性で小昆虫を捕食します。鳴き声は特徴的な「スィーッチョン」です。

ヒイラギ

モクセイ科常緑小高木 花期：10-12月



ヒイラギ（柊）は、日本や台湾に分布するモクセイ科モクセイ属の常緑小高木で、花言葉には「用心深さ」「保護」「先見の明」などがあります。白い小花はキンモクセイに似た甘い香りがします。

メジロ

スズメ目メジロ科
観察時期：一年中



メジロはスズメの仲間で、スズメよりも小さく、体長は約12cmです。日本の小鳥の中では4番目に小さいとされ、潤いの森で見られる鳥の中では最小です。この時期は、柿の実やサザンカの花の蜜を吸う姿をよく目にします。

日本の小型野鳥ランキング（体長）



キクイタダキ
約10cm



ミソサザイ
約11cm



ヒガラ
約11cm

写真引用元：「日本の野鳥識別図鑑」より

